

中根小学校区タウンミーティング意見・回答一覧

ID	行政区名	意見の概要	意見に対する回答	地図等の有無	担当部	担当課
R4-中根小-1	びゅうパルク ひたち野	元横綱稀勢の里が第13代二所ノ関親方として牛久市と道路1つ隔てた阿見町に相撲部屋を完成されました。 同親方は、牛久市出身力士として大いに活躍され、横綱時代には牛久市市民栄誉賞が授与されました。 相撲部屋の位置からにして、日常生活はひたち野うしく駅を中心とした界隈が拠点になられると思われます。 今後、牛久市としてどのように関わっていかれる予定でしょうか。	<p>【市民活動課】 旧稀勢の里関郷土後援会は、横綱の引退に伴い、令和2年3月31日をもって解散しております。新たに設立された二所ノ関部屋との関わりについてですが、去る6月5日の部屋開きの前に、ひたち野うしく駅の自由通路に、牛久市は部屋の紹介パネルを、阿見町は歓迎の横断幕を設置いたしました。今後阿見町が郷土茨城のための二所ノ関部屋関連のイベント等を開催する際には、牛久市も力添えをさせていただければと考えております。</p> <p>【スポーツ推進課】 市内には相撲を主活動としている団体は見当たらない状況です。しかしながら親方の相撲を通じての経験などを伝えていただくことは、市民にとって大変意義のある事であると考えていますが、現時点はお弟子さんたちの指導に専念していただき、時期を見定めて近隣市町とも連携の上、取り組める活動を模索してまいります。</p>	なし	市民部 教育委員会	市民活動課 スポーツ推進課
R4-中根小-2	むつみ	<p>【敬老祝いを市で】 各生涯学習センターで75歳になった方のみ集めて式典を行い、その他75歳以上の方へは記念品を送るなど。(行政区では対応しきれない人数に達している。)</p>	<p>市が行う敬老のお祝い事業につきましては、現状では、100歳と88歳の方を対象とした敬老祝い金の支給事業と、各行政区等が行う敬老事業に対する交付金事業の2事業となっております。 このような事業に整理されるまでの経緯ですが、概ね平成初期の頃までは、市内1か所で敬老大会として開催しておりましたが、この時期の問題点として、さまざまな身体状況の高齢者が増加するなかで、会場に来られない方がいるなどの不公平が生じていること、式典や講演会などを実施しても参加者をはじめ、ご家族等の満足につながらなかったこと等により、さまざまに検討と協議をした結果、身近な行政区単位での実施となった経緯がございます。 市からのお祝い金や記念品についても、配布方法や内容などについて賛否両論があり、数年にわたり変更や検討をした結果、市からのお祝い金は口座振込での支給とし、記念品については廃止いたしました。 行政区での実施においては、地域での祝賀行事により交流の輪が広がりました。令和2年度からは新型コロナウイルスの影響により、大会の開催に代わる方法で趣向を凝らし、高齢者に対しさまざまな敬意と祝意をお伝えしていると聞いております。高齢者の増加に伴い、行政区においても実施方法等、課題があると承知しておりますが、市といたしましては、各行政区で実施される事業に対して、交付金という形で後押しするほうが実情に合うものと考えております。</p>	なし	保健福祉部	高齢福祉課

中根小学校区タウンミーティング意見・回答一覧

ID	行政区名	意見の概要	意見に対する回答	地図等の有無	担当部	担当課
R4-中根小-3	栄西	<p>牛久市の第2次避難場所として中根小学校区の9行政区は中根小学校を指定されていますが、栄西区民から中根小学校への避難は大変危険であり、市役所等への変更をお願いしたいとの要望が出ています。</p> <p>理由は次の通りです。</p> <p>①中根小学校へ南から避難する場合は道が極端に狭く、しかも高低差が大きく高齢者の移動が難しい。</p> <p>②圏央道の下をくぐらなくてはならず、第2次避難が必要なほどの場合は圏央道のひび、倒壊が考えられる。</p> <p>③特別高圧送電線巨大鉄塔もあり、こちらも倒壊の可能性がある。</p> <p>牛久市役所への移動には広い高低差のない道に行くことになり、②③のような危険な場所はありません。(生涯学習センターなども考えられます。)</p> <p>中根小学校に大勢の避難者が来た場合、水・食料の備蓄物資が間に合うほど準備されているのかも区民から不安の声が出ています。</p> <p>全国から備蓄が届くような場合も、中根小学校へのアクセスは困難になることも考えられます。</p> <p>以上の理由から、第2次避難場所の中根小学校以南の行政区の指定の見直しと、備蓄品整備をお願いしたいと思います。</p>	<p>牛久市役所は災害対応の拠点であり、第2次避難場所に指定していないことから、避難場所とすることは困難です。</p> <p>生涯学習センターについても、災害ボランティアセンター、食料・物資集積場所として使用する事を計画しております。</p> <p>避難場所については、市内の小学校・中学校・高等学校となっております。</p> <p>中根小学校への避難を不安に感じられる場合については、中根小学校以外の学校に避難頂くことも可能です。</p> <p>また、高齢者等の要配慮者については、福祉避難所である総合福祉センター、牛久運動公園武道館等に避難することも可能です。</p> <p>備蓄については、市民分の全てを市で備蓄する事は費用、置き場所も含めて困難です。</p> <p>市では39,000食の備蓄食料、水等を大規模災害に備えて備蓄しておりますが、これらは帰宅困難者、家に大きな被害が発生し、家から避難所へ食料を持ち寄る事が出来ない人に優先的に配布することになります。</p> <p>そのため、市では各家庭で最低でも3日分程度の食料等を備蓄して頂くよう広報紙、防災ハンドブック、防災訓練を通じて、市民の皆様をお願いをしているところです。</p>	なし	市民部	防災課